

県名	熊本県	商工会名	阿蘇市商工会
事業者名	建岡とうふ店		
題名	手許資金の確保と資金繰り改善による経営環境の向上計画(続)		
画像			
複数枚ある場合は、2ページ目以降に 貼付けをお願いします			
画像キャプション			

氏名	中村彰宏
支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☐	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☒	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☐	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☐	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題
昨年支援事例で報告した事業所の続編。 [当初の取組経緯・前回の報告までの流れ] ・借入が厳しく、元金返済の猶予を申請しリスクを行われ、資金繰りが厳しくなり立て直しのため支援を開始。昨年は、不採算先の断捨離・観光客向けの高利益の新商品開発に着手し、キャッシュを残す計画を作成し、初月の8月は計画通りにスタートできた。 [今期の課題]については ・手許資金が厳しい ・人手が増やせない ・高利益商品開発途上(少ない)利益確保の効率化 ・返済猶予中の元金を返済できるキャッシュフローの確保
支援内容
今期において、元金の返済猶予の期限を迎える3月には現預金の残高を返済元金の3倍確保することを目標に、計画の実行と管理及び修正の支援を行った。 ・改善計画を8月から開始し、毎月月初に面談を行い前月の売上と手許預金の残高の報告を求め改善計画の進捗管理を行うとともに、季節を先読みした商品の開発、材料の見直しを検討、手持ち資金だけの資金繰り等の指導を毎月行い計画の修正を行った。 ・当事業者は、人物は良いがネガティブになりやすい性格であり面談の都度、気持ちを入れさせた。 ・このようなサイクルを毎月続けるうち、ほぼ残って無かった月末時点の現預金残が目標の1/5程度残るようにはなったが、返済を開始できる状態ではないため、金融機関へ帯同し計画の現状を説明し再度の元金返済の猶予の申請を行い9月まで延長の承諾を受けた。 ・事業者の意識が上向き、高利益率の商品の比率が増加し、売上については前年に対し同程度であるが9月の時点で現預金の残高は目標の2/5程度まで増加した。10月の元金の返済再開については満額は難しいため現状と今後の計画を説明し、返済額を本来の3/25程度の金額にて交渉。翌年3月までで承諾を得ることができた。 ・現在は次回の猶予期限までに目標の手許現預金、返済元金の3倍の確保と正常返済ができるキャッシュフローを確保できるよう引き続き業務改善を行っている。

支援の経過	
期 間	支援内容
R6年9月 ～R7年2月	実行状況確認、修正、商品開発の案出し
R7年3月	銀行・国金 リスク交渉
R7年3月 ～R7年8月	実行状況確認、修正、商品開発の案出し
R7年9月	銀行・国金 リスク交渉

支援内容の感想
毎月繰返し面談を行い、意識付を行うことにより事業者自身の意識が向上し、少しずつではあるが事業も事業者自身の意識も改善された、少しでも早く正常な状態になるように支援を続けたい。